

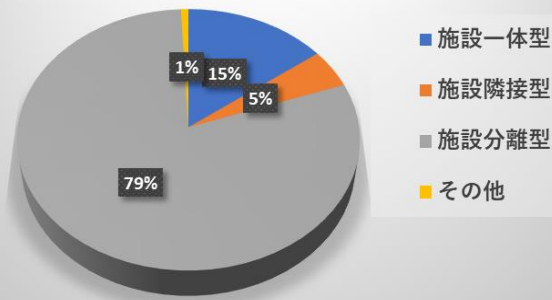


施設形態から見る小中一貫教育校の分類

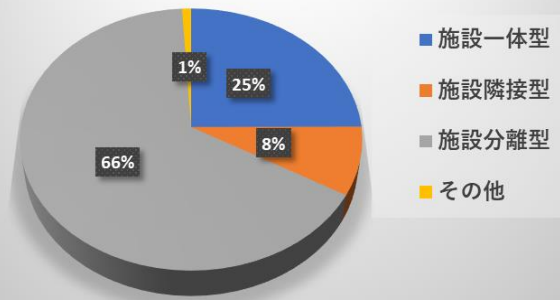
第1号で紹介しましたが、文部科学省学校基本調査によれば令和3年度の小中一貫教育校は小学校で917校、中学校で537校あります。この小中一貫教育校を施設の設置パターンで分類すると、施設形態としては「施設一体型」「施設隣接型」「施設分離型」の3つに分かれます。

「施設一体型」は小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に設置されているものです。「施設隣接型」は小学校と中学校の校舎が同一敷地又は隣接する敷地に別々に設置されているものです。「施設分離型」は小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に設置されているものです。二宮町が令和5年度から導入しようとしている小中一貫教育校は「二宮小学校・二宮中学校」「一色小学校・山西小学校・二宮西中学校」の2つのグループによる「施設分離型」の小中一貫教育校になります。

令和3年度小学校小中一貫教育校分類



令和3年度中学校小中一貫教育校分類



施設一体型のイメージ

小学校・中学校

同じ敷地で、校舎が一体化している

(渡り廊下でつながっている場合も含む)

施設隣接型のイメージ

小学校 中学校

敷地が隣接している

小学校 中学校

同じ敷地だが、校舎が離れている

施設分離型のイメージ

小学校

中学校

敷地が離れている

神奈川県内の小中一貫教育校

県が公表した令和3年度学校基本調査によれば、県内には学校教育法施行規則第79条の9に規定する正規の手続きを踏んでいる施設分離型の小中一貫教育校は横浜市のみでそれ以外の市町村にはありません。その内訳は右の表のようです。

施行規則に基づかないで実態として小中一貫教育を行っている学校は神奈川県下においても何校かあります。

なお、県下の義務教育学校は令和4年4月20日

現在、横浜市にある西金沢学園、霧が丘学園、緑園学園(令和4年4月開校)と相模原市にある清和学園の4校があります。第1号で触れましたが、義務教育学校は小・中学校の組織が一体化され、1人の学校長、1つの教職員組織で運営される学校のことです。

区分	学校構成	区分	学校構成
鶴見区	2小1中	港北区	2小1中
神奈川区	2小1中	旭区	1小1中
西区	1小1中	栄区	2小1中
金沢区	1小1中		